

file 27

はざま すみ こ 間澄子さん

起業

有機無農薬生産者グループ百草園代表
農林水産省登録認定機関 NPO (特定非営利活動) 法人
熊本県有機農業研究会常任理事

Profile

1950年生まれ。有機農業を営みながら環境カウンセラーや新聞の執筆活動などで幅広く活動。

キャリアの一選択として始めた農業女性も経営に参加を

—どんな仕事をされていますか。

間 有機農業で作った作物を消費者に出荷しています。有機農業とは、農薬を使わない農業の方法です。その環境作りとして、一枚の畑の中に作物と生き物の多様性を作り、生物バランスを整えています。そして、有機無農薬生産者グループ「百草園」で消費者に直接販売を行い、百草園の研修生のために作った出荷組織「万葉村」で業者向けに、主に福岡へ出荷しています。現在、熊本県有機農業研究会の常任理事としての仕事もしています。

2014年	2013年	2012年	2011年	2010年	2009年	1998年	1972年
国の農林水産祭において、夫婦で日本農林漁業振興会会長賞受賞	県農業コンクールにおいて、夫婦で農林水産大臣賞受賞	熊本市より公民館などでの生ごみコンポスト講座講師として派遣	環境省・環境カウンセラーに登録される	農林水産省登録認定機関 NPO 法人熊本有機農業研究会理事就任	農林水産省登録認定機関 NPO 法人熊本有機農業研究会理事就任	NPO 法人のインターンシップ制度でサンフランシスコに3カ月研修	新規就農者として苗木で有機無農薬野菜の「百草園」経営開始

輝きの軌跡

間澄子さんの
キャリアストーリー

—新規就農者として農業を始めようと思ったきっかけは何ですか。

間 熊本大学の理学部生物学科で学んだ後、東京で就職しましたが、仕事と子育ての両立はとても困難でした。そんな中、東京で消費者として有機野菜を取っていたこともあり、農業に興味を持ちました。そして、農業は仕事と子育ての両立が可能だということを知り、熊本に帰って農業を始めることを決意しました。女性が新たに農業を始めるといって、嫁いでいくイメージが大きいと思います。しかし私は、キャリアの一選択として農業を始めました。

—農業経営はどうされていますか。

間 私たち夫婦は、休みや給与を協定という形で約束する「家族経営協定」を結んでいません。協定によって、女性にとって働きがいのあるものになるとは思いますが、私は経営に参画したいという気持ちが強く、「共同経営」契約を結びました。この契約を

結べば、私も退職金の積み立てができるなど、経営者であれば当然のことができるからです。でも、30年も農業をしているのは土や虫に触れることが性に合っているから。経営はその次かな。

—女子学生に向けてのアドバイスをお願いします。

間 まずは会社に入って、社会がどのようなものなのかを学んでください。社会の中で立場を持たなければ社会にアクセスすることはできません

ん。また、自分の価値を認めてもらうためには、それ相応のステップアップが必要です。その際、良い人間関係を築くことが最も大切になってきます。自分のロールモデルとなる先輩を見つけて、自分の将来を定めていってください。

有機農業の技術が、高く評価される時代です。私も新しい技にどんどん挑戦していきたい！



取材担当
尚綱大学短期大学部1年
佐藤佳蓮

有機無農薬生産者グループ
百草園
熊本市北区植木町今藤 1140-1
TEL : 096-273-1917
URL : <http://hyakusouen.jp/>
熊本県有機農業研究会
熊本市東区新南部2-5-13
TEL : 096-223-6771
URL : <http://www.kumayuken.org/>

